



# **turbolinux** **appliance server 2.0**

インストールガイド

---

## Copyrights/Trademarks

© 2006 Turbolinux, Inc. All rights reserved.

本書の一部、または全部を著作権所有者の許諾なしに、商用目的のために複製、配布することはできません。

Turbolinux、ターボリナックスの名称およびロゴはターボリナックス株式会社の商標または登録商標です。Linux は Linus Torvalds 氏の米国および他の国における商標です。Microsoft、MS-DOS、Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。Adobe、Acrobat、Adobe Acrobat は Adobe Systems, Inc. の商標または登録商標です。Sun、Sun Microsystems、Java、JavaScript、Sun Cobalt、Sun Cobalt Qube は Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

その他、記載された会社名およびロゴ、製品名などは該当する会社の商標または登録商標です。本ガイドでは、©、®、™ の表示を省略しています。ご了承ください。

第1章 はじめに .....	1
1-1 システム要件 .....	1
1-2 RAID-1 (ディスクミラーリング) .....	2
1-3 運用形態 .....	3
第2章 Turbolinux Appliance Server のインストール .....	5
2-1 キックスタートファイルの決定 .....	5
2-2 インストーラの起動 .....	8
2-3 キックスタートファイルの指定 .....	9
2-4 インストールの完了 .....	11
2-5 Turbolinux Appliance Server の起動 .....	12
第3章 Turbolinux Appliance Server の初期設定 .....	13
3-1 準備 .....	13
3-2 セットアップウィザード .....	15
3-3 IP アドレスの変更 .....	20
第4章 TLAS Server Desktop .....	22
4-1 ログイン .....	22
4-2 ライセンスの取得 .....	24
付録 A. ハードディスクの確認方法 .....	25

---

# 第 1 章 はじめに

「Turbolinux Appliance Server 2.0 インストールガイド」では、Turbolinux Appliance Server 2.0 をインストールするための準備から実際のインストール、そして、Turbolinux Appliance Server のウェブ管理インターフェイス「TLAS Server Desktop」にアクセスする方法を解説しています。

Turbolinux Appliance Server の一般的なインストール方法は、キックスタートインストールを利用する方法です。キックスタートインストールとは、Turbolinux Appliance Server のインストールを完全に自動化するために実装されているインストーラの機能です。「インストール CD」からシステムを起動し、あらかじめ用意されたキックスタートファイルを選択するだけで、Turbolinux Appliance Server のインストールを完了することができます。

## 1-1 システム要件

Turbolinux Appliance Server をインストールするために必要なサーバーの仕様は以下の通りです。

	動作環境（推奨値）
CPU	Intel x86 互換 Pentium III 相当以上（1GHz 以上を推奨）
メモリ	256MB 以上（512MB 以上を推奨）
ハードディスク	IDE/SCSI HD 8GB 以上
CD-ROM	ブート可能な CD-ROM ドライブ
イーサネットカード	2 枚（1 枚でもインストール可能）

Turbolinux Appliance Server のインストールを開始する前に、ターボリナックスの Web サイトで最新の情報を確認することをお勧めします。製品リリース時に未対応であったハードウェアへのインストール方法やリリース後に発見された不具合などの情報が公開されている可能性があります。また、インストールサポートの付属する製品を購入された場合は、無償のインストールサポートサービスをご利用いただけます。Turbolinux Appliance Server のインストールで問題が発生した場合にご活用ください。インストールサポートサービスの利用方法やサポート範囲については「Turbolinux Appliance Server 2.0 サポートガイド」を参照してください。

### 1-2 RAID-1（ディスクミラーリング）

Turbolinux Appliance Server は、ソフトウェア RAID-1 をサポートしています。RAID とは、データの安全性向上と処理の高速化をはかる目的で複数ハードディスクをまとめて管理する技術です。安全性や高速性のレベルにより、RAID-0 から RAID-5 に分類されます。Turbolinux Appliance Server のようにソフトウェアで実現するものと、専用のハードウェアを使用して実現するものがあります。ハードウェア RAID の構築手順はハードウェアごとに異なります。ご使用の RAID カード等のマニュアルを参照してください。

Turbolinux Appliance Server がサポートするソフトウェア RAID-1 は、ディスクミラーリングともよばれ、物理的に 2 台のハードディスクに全く等しいデータを書き込むことでデータの冗長性を高めます。これら 2 台のハードディスクは、OS からは 1 台の論理的なハードディスクとして認識されます。このようにデータを二重化することによって、片方のハードディスクに障害が発生した場合に、もう一方のハードディスクに保持されているデータを使用し、正常に動作することが可能です。また、障害の発生したハードディスクを交換した後にシステムを起動すると自動的に RAID-1 の再構築が行われます。



ソフトウェア RAID-1 を構成する 2 つのハードディスクは、必ず同じハードディスクを使用してください。障害復旧時に RAID-1 の再構築が正常に実行できない可能性があります。



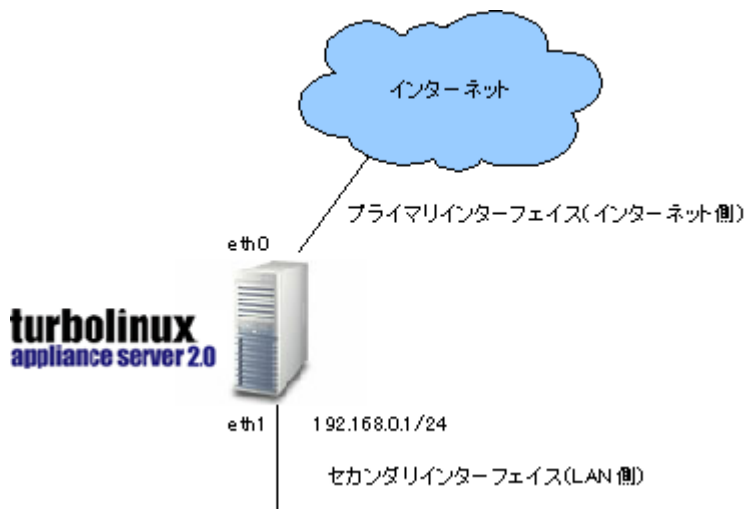
ソフトウェア RAID-1 を構築して Turbolinux Appliance Server をインストールすると、初回起動時にハードディスクの同期処理が実行されるため、同期が完了するまでパフォーマンスが低下する可能性があります。



万が一、1 台のハードディスクに障害が発生した場合、Turbolinux Appliance Server の管理者は、システム監視機能「アクティブモニタ」によって、ただちに異常を検知することができます。「アクティブモニタ」については「Turbolinux Appliance Server 2.0 操作ガイド」を参照してください。

### 1-3 運用形態

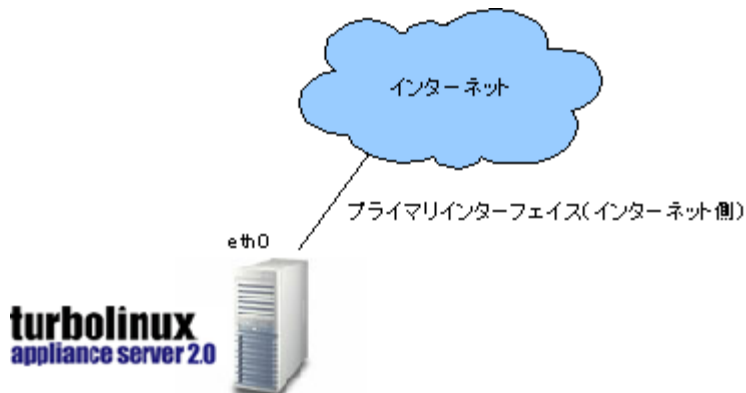
基本的に Turbolinux Appliance Server は、2つのネットワークカードを搭載しているサーバーにインストールするように設計されています。これらは、プライマリインターフェイス (eth0)、およびセカンダリインターフェイス (eth1) と呼ばれており、各ネットワークインターフェイスの使用目的は下図のように決められています。



プライマリインターフェイス (eth0) は、インターネットへ接続するためのインターフェイスです。このインターフェイスには、グローバル IP アドレスを割り当てます。

セカンダリインターフェイス (eth1) は、Turbolinux Appliance Server を管理するための LAN に接続します。また、Turbolinux Appliance Server をキックスタートインストールすると、セカンダリインターフェイス (eth1) には、IP アドレス 192.168.0.1/255.255.255.0 が自動的に設定されます。この IP アドレスは、インストールした Turbolinux Appliance Server のセットアップウィザードへアクセスするために使用します。「3-2 セットアップウィザード」を参照してください。

通常はこのように2つのネットワークインターフェイスを持つサーバーにインストールしますが、下図のようにネットワークインターフェイスを1つしか持たないサーバーで Turbolinux Appliance Server を運用することも可能です。



しかし、この場合はセカンダリインターフェイス (eth1) が存在しないため、Turbolinux Appliance Server をキックスタートインストールすると、プライマリインターフェイス (eth0) に IP アドレス 192.168.0.1/255.255.255.0 が設定されます。インターネットへ接続するには、Turbolinux Appliance Server のセットアップウィザードを完了したあとに、プライマリインターフェイスの IP アドレスを変更する必要があります。

# 第 2 章 Turbolinux Appliance Server のインストール

この章では、Turbolinux Appliance Server の最も一般的なインストール方法であるキックスタートインストールの手順を解説します。

## 2-1 キックスタートファイルの決定

キックスタートインストールは、Turbolinux Appliance Server のインストールを完全に自動化するために実装されているインストーラの機能です。「インストール CD」の ks ディレクトリに格納されているキックスタートファイルを指定し、インストールを開始すると、インストーラはそのキックスタートファイルを参照し、自動的に Turbolinux Appliance Server をインストールします。

「インストール CD」の ks ディレクトリには、想定されるおよそ全ての環境のキックスタートファイルが用意されています。インストールを開始する前に、どのキックスタートファイルを使用して Turbolinux Appliance Server をインストールするかを決定してください。キックスタートファイルは、大きく以下の種類に分類されます。

- ネットワークインターフェイスの数
- ソフトウェア RAID-1 を構成するかどうか
- シリアルコンソールを使用するかどうか
- 標準言語（英語、日本語）



シリアルコンソールを使用すると、COM1 ポート (/dev/ttyS0) を経由して Turbolinux Appliance Server のメッセージを出力できるようになります。Turbolinux Appliance Server ⇔ クロスシリアルケーブル ⇔ PC のようにケーブルを接続し、PC が Windows の場合は TeraTerm、Linux の場合は minicom などの端末エミュレータソフトを使用して待ち受けます。Turbolinux Appliance Server を起動するとシリアルコンソールにメッセージが表示されます。



ks-en-1nic.cfg のように、ファイル名に en の付いているキックスタートファイルは、Turbolinux Appliance Server の標準言語を英語でインストールします。その他のキックスタートファイルは日本語でインストールします。



ハードウェア RAID で RAID-1 を構成している場合、Turbolinux Appliance Server からは 1 台のハードディスクとして認識されず、ks.cfg、ks-sc.cfg、ks-1nic.cfg、ks-sc-1nic.cfg の中からご使用のシステム環境にあったキックスタートファイルを使用してください。

## ○ ネットワークカードが 1 枚の場合

プライマリインターフェイス (eth0) のみ存在するサーバーに Turbolinux Appliance Server をインストールするには、以下のキックスタートファイルを使用します。これらのキックスタートファイルには lnic が付きます。

キックスタートファイル	RAID	SC	説明
ks-lnic.cfg			ハードディスクを 1 台だけ搭載しているサーバーに Turbolinux Appliance Server をインストールする場合に選択します。
ks-sc-lnic.cfg		○	ハードディスクを 1 台だけ搭載しているサーバーに Turbolinux Appliance Server をインストールする場合に選択します。また、シリアルコンソールが有効に設定されます。
ks-sraid1-lnic.cfg	○		/dev/sda、/dev/sdb と認識された SCSI または SATA ハードディスクでソフトウェア RAID-1 を構成し、Turbolinux Appliance Server をインストールする場合に選択します。
ks-raid1-ab-lnic.cfg	○		/dev/hda、/dev/hdb と認識された IDE ハードディスクでソフトウェア RAID-1 を構成し、Turbolinux Appliance Server をインストールする場合に選択します。
ks-raid1-ac-lnic.cfg	○		/dev/hda、/dev/hdc と認識された IDE ハードディスクでソフトウェア RAID-1 を構成し、Turbolinux Appliance Server をインストールする場合に選択します。
ks-raid1-cd-lnic.cfg	○		/dev/hdc、/dev/hdd と認識された IDE ハードディスクでソフトウェア RAID-1 を構成し、Turbolinux Appliance Server をインストールする場合に選択します。
ks-sraid1-sc-lnic.cfg	○	○	/dev/sda、/dev/sdb と認識された SCSI または SATA ハードディスクでソフトウェア RAID-1 を構成し、Turbolinux Appliance Server をインストールする場合に選択します。また、シリアルコンソールが有効に設定されます。
ks-raid1-ab-sc-lnic.cfg	○	○	/dev/hda、/dev/hdb と認識された IDE ハードディスクでソフトウェア RAID-1 を構成し、Turbolinux Appliance Server をインストールする場合に選択します。また、シリアルコンソールが有効に設定されます。
ks-raid1-ac-sc-lnic.cfg	○	○	/dev/hda、/dev/hdc と認識された IDE ハードディスクでソフトウェア RAID-1 を構成し、Turbolinux Appliance Server をインストールする場合に選択します。また、シリアルコンソールが有効に設定されます。
ks-raid1-cd-sc-lnic.cfg	○	○	/dev/hdc、/dev/hdd で認識された IDE ハードディスクでソフトウェア RAID-1 を構成し、Turbolinux Appliance Server をインストールする場合に選択します。また、シリアルコンソールが有効に設定されます。



ソフトウェア RAID-1 を構成するハードディスクのデバイス名が不明な場合は、「付録 A. ハードディスクの確認方法」の手順で確認することができます。

### ○ ネットワークカードが 2 枚の場合

プライマリインターフェイス (eth0) とセカンダリインターフェイス (eth1) の存在するサーバーに Turbolinux Appliance Server をインストールするには、以下のキックスタートファイルを使用します。

キックスタートファイル	RAID	SC	説明
ks.cfg			ハードディスクを 1 台だけ搭載しているサーバーに Turbolinux Appliance Server をインストールする場合に選択します。
ks-sc.cfg		○	ハードディスクを 1 台だけ搭載しているサーバーに Turbolinux Appliance Server をインストールする場合に選択します。また、シリアルコンソールが有効に設定されます。
ks-sraid1.cfg	○		/dev/sda、/dev/sdb と認識された SCSI または SATA ハードディスクでソフトウェア RAID-1 を構成し、Turbolinux Appliance Server をインストールする場合に選択します。
ks-raid1-ab.cfg	○		/dev/hda、/dev/hdb と認識された IDE ハードディスクでソフトウェア RAID-1 を構成し、Turbolinux Appliance Server をインストールする場合に選択します。
ks-raid1-ac.cfg	○		/dev/hda、/dev/hdc と認識された IDE ハードディスクでソフトウェア RAID-1 を構成し、Turbolinux Appliance Server をインストールする場合に選択します。
ks-raid1-cd.cfg	○		/dev/hdc、/dev/hdd と認識された IDE ハードディスクでソフトウェア RAID-1 を構成し、Turbolinux Appliance Server をインストールする場合に選択します。
ks-sraid1-sc.cfg	○	○	/dev/sda、/dev/sdb と認識された SCSI または SATA ハードディスクでソフトウェア RAID-1 を構成し、Turbolinux Appliance Server をインストールする場合に選択します。また、シリアルコンソールが有効に設定されます。
ks-raid1-ab-sc.cfg	○	○	/dev/hda、/dev/hdb と認識された IDE ハードディスクでソフトウェア RAID-1 を構成し、Turbolinux Appliance Server をインストールする場合に選択します。また、シリアルコンソールが有効に設定されます。
ks-raid1-ac-sc.cfg	○	○	/dev/hda、/dev/hdc と認識された IDE ハードディスクでソフトウェア RAID-1 を構成し、Turbolinux Appliance Server をインストールする場合に選択します。また、シリアルコンソールが有効に設定されます。
ks-raid1-cd-sc.cfg	○	○	/dev/hdc、/dev/hdd で認識された IDE ハードディスクでソフトウェア RAID-1 を構成し、Turbolinux Appliance Server をインストールする場合に選択します。また、シリアルコンソールが有効に設定されます。



ソフトウェア RAID-1 を構成するハードディスクのデバイス名が不明な場合は、「付録 A. ハードディスクの確認方法」の手順で確認することができます。

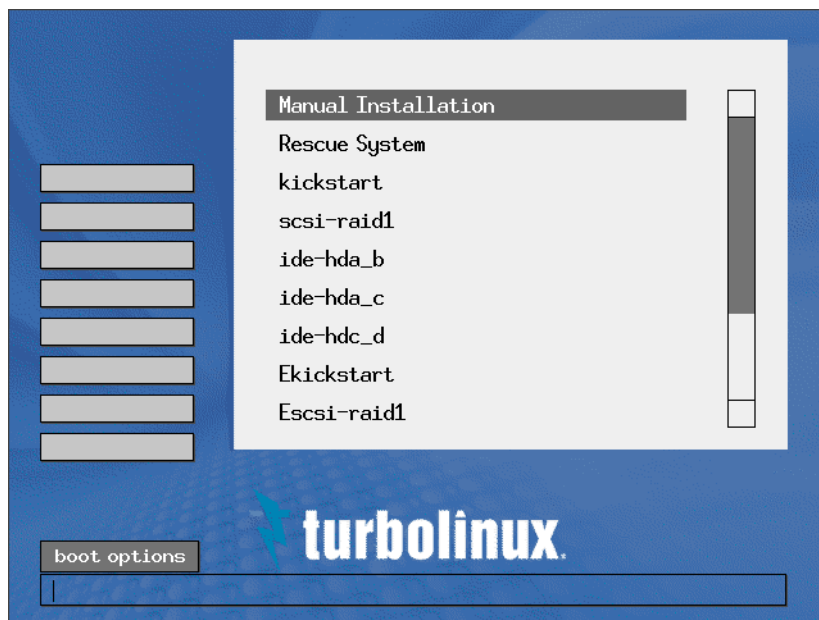
## 2-2 インストーラの起動



キックスタートインストールは、既存のパーティションを削除し、Turbolinux Appliance Server をインストールします。ハードディスク上のデータは全て消去されますので、必ず必要なデータをバックアップしたあとにインストールを開始してください。削除したくないパーティションが存在する場合は、キックスタートインストールを実行しないでください。

Turbolinux Appliance Server は、「インストール CD」からシステムを起動することで簡単にインストールを開始することができます。Turbolinux Appliance Server をインストールするサーバーが CD-ROM ブート (CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入した状態で電源を入れて CD-ROM ドライブからシステムを起動すること) をサポートしているかどうかを付属のマニュアル等で確認してください。ほとんどのシステムは CD-ROM ブートをサポートしています。ただし、システムの起動時に BIOS と呼ばれる設定画面を表示して、CD-ROM からブートするように起動デバイスの順序を変更する必要があるかもしれません。

サーバーの電源を投入し、すぐに CD-ROM ドライブに「インストール CD」を挿入します。もしくはサーバーを再起動します。CD-ROM ブートが有効に設定されていれば「インストール CD」が読み込まれ、インストーラの起動画面が表示されます。



### 2-3 キックスタートファイルの指定

インストーラの起動画面には以下のインストールメニューが表示されます。

インストールメニュー	説明
Manual Installation	初期状態ではこのインストールメニューが選択されています。このメニューが選択された状態でインストーラを起動すると、Turbolinux Appliance Server のグラフィカルインストーラが起動します。Turbolinux Appliance Server は、通常、キックスタートでインストールするため、このメニューを選択する必要はありません。
Rescue System	何らかの原因でインストール後のシステムにトラブルが発生した場合にレスキューシステムを利用すると、ハードディスクを使用せずにシェルを起動できます。起動不可能なシステムのリカバリやトラブルを解決するための情報収集に役立てることができます。
Kickstart	ks.cfg を指定した場合と同様の処理を行います。
scsi-raid1	ks-sraid1.cfg を指定した場合と同様の処理を行います。
ide-hda_b	ks-raid1-ab.cfg を指定した場合と同様の処理を行います。
ide-hda_c	ks-raid1-ac.cfg を指定した場合と同様の処理を行います。
ide-hdc_d	ks-raid1-cd.cfg を指定した場合と同様の処理を行います。
EKickstart	ks-en.cfg を指定した場合と同様の処理を行います。
Escsi-raid1	ks-en-sraid1.cfg を指定した場合と同様の処理を行います。
Eide-hda_b	ks-en-raid1-ab.cfg を指定した場合と同様の処理を行います。
Eide-hda_c	ks-en-raid1-ac.cfg を指定した場合と同様の処理を行います。
Eide-hdc_d	ks-en-raid1-cd.cfg を指定した場合と同様の処理を行います。
text	Turbolinux Appliance Server のテキストインストーラが起動します。Turbolinux Appliance Server は、通常、キックスタートでインストールするため、このメニューを選択する必要はありません。

インストールメニューで選択可能なキックスタートファイルを使用してTurbolinux Appliance Serverをインストールする場合は、矢印キーでインストールメニューを選択して [Enter] キーを押します。Turbolinux Appliance Server のインストールが開始されます。

## 2-3 キックスタートファイルの指定

しかし、インストーラの仕様上、インストールメニューから選択できないキックスタートファイルもあります。その場合は、起動画面の「boot options」に以下のインストールオプションを入力します。

```
ks=cdrom:ks/ キックスタートファイル名
```

"キックスタートファイル名"には「インストール CD」に格納されているキックスタートファイルを直接指定します。例えば、ks-1nic.cfg を使用してキックスタートインストールを開始するには、以下のように「boot options」に入力します。

```
ks=cdrom:ks/ks-1nic.cfg
```



キーボード入力は英語キーボードの使用が前提となっています。日本語キーボードで:を入力するには [Shift] + [;] キー、=を入力するには [^] キーを押します。

入力後、[Enter] キーを押します。Turbolinux Appliance Server のインストールが開始されます。

ターボリナックスへようこそ | システムのインストール

パッケージのインストール

initscripts-9-30

inittab と /etc/init.d/ のスクリプト

パッケージ 46/595

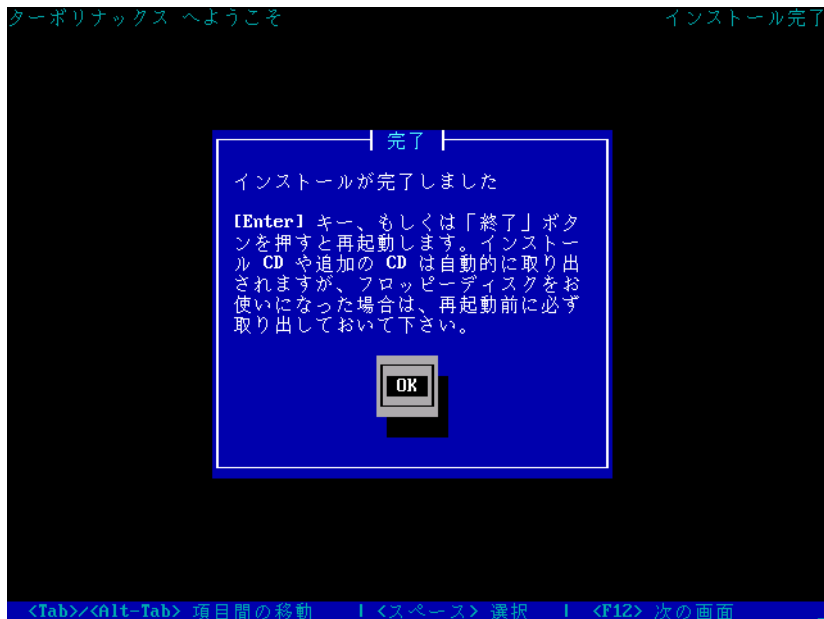
容量 144MB/811MB

パッケージ	容量	状態	時間
initscripts-9-30	334KB	ok	4:47
net-tools-1.60-13	627KB	ok	4:43
modutils-2.4.25-20	528KB	ok	4:41
mingetty-1.06-3	28KB	ok	4:39
distro-0.1-25	65KB	ok	4:38
gawk-3.1.3-2	4MB	ok	4:37
distribution-release-TLAS2-20030KB		ok	4:30
dev-3.1.0-15	0bytes	ok	4:27
sed-4.1.1-2	314KB	ok	3:06
shadow-utils-20000902-13	1208KB	ok	3:04

残り時間 26 分

### 2-4 インストールの完了

Turbolinux Appliance Server のインストールが完了すると、以下の画面が表示されます。



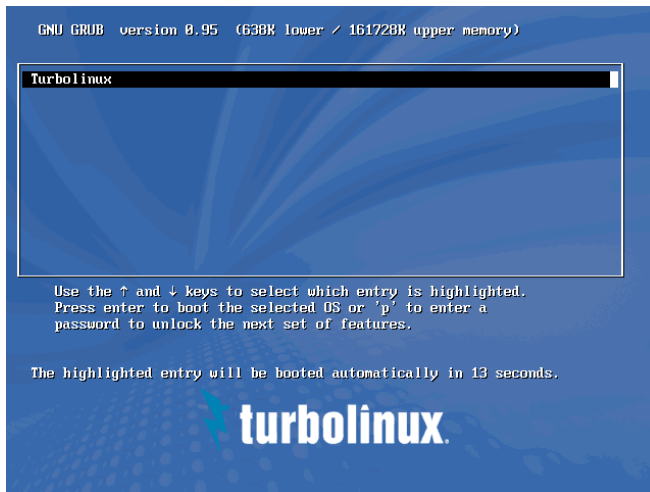
[OK]ボタンを押すと、CD-ROMドライブのトレイが自動で開きます。「インストールCD」を取り出してください。以下のメッセージが表示されます。

```
Installation completed successfully.
sending termination signals... ok
sending kill signals... ok
disabling swap...
  /tmp/swap/sda2
unmounting /mnt/runtime...
disabling /tmp/loop0...
deleting /mnt/sysimage//install-stage2.img...
unmounting /mnt/source... failed (22)
ejecting /tmp/cdrom...
Press <Enter> to reboot: _
```

[Enter] キーを押してサーバーを再起動します。これで、Turbolinux Appliance Server のインストールは終了です。

## 2-5 Turbolinux Appliance Server の起動

Turbolinux Appliance Server のインストールが完了し、サーバーを再起動すると、以下の起動画面が表示されます。



ソフトウェア RAID-1 を構築した場合は以下の起動画面が表示されます。



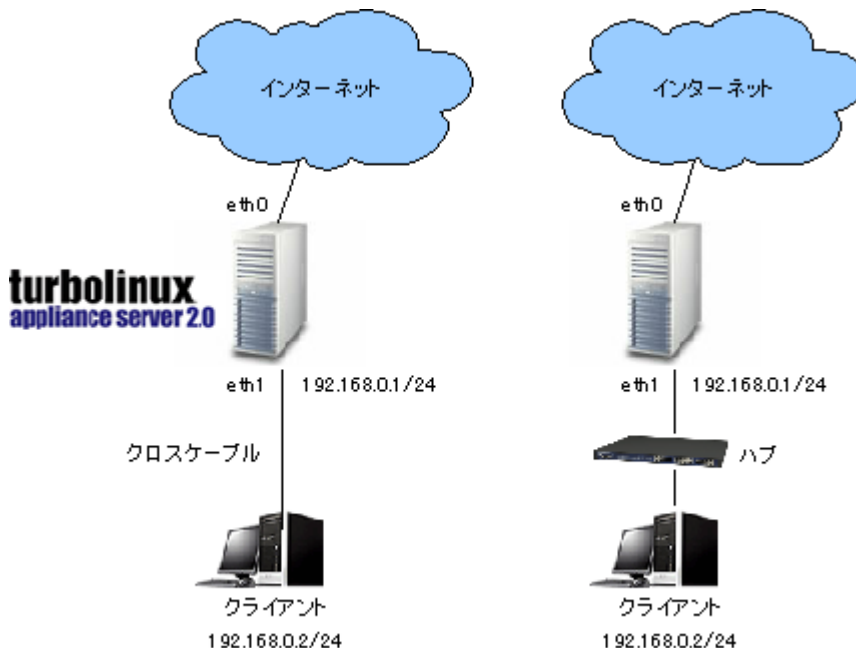
[Enter] キーを押すと即座に Turbolinux Appliance Server が起動します。または、15 秒後に自動的に起動します。

## 第 3 章 Turbolinux Appliance Server の初期設定

Turbolinux Appliance Server を使用するには初期設定が必要です。初期設定はクライアントの Web ブラウザからセットアップウィザードへアクセスすることによって開始することができます。

### 3-1 準備

#### ○ ネットワークカードが 2 枚の場合



プライマリインターフェイス (eth0) とセカンダリインターフェイス (eth1) の存在するサーバーに Turbolinux Appliance Server をキックスタートインストールすると、以下の IP アドレスとサブネットマスクがセカンダリインターフェイス (eth1) に割り当てられます。

セカンダリインターフェイスの IP アドレス	192.168.0.1
サブネットマスク	255.255.255.0

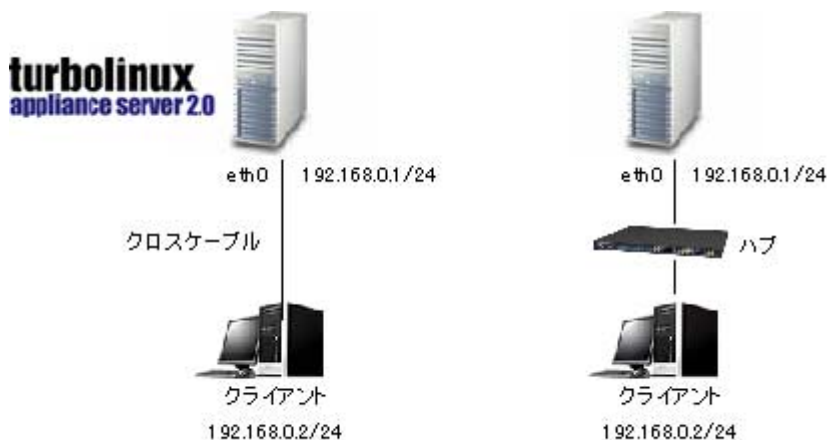


プライマリインターフェイスの設定は行われません。プライマリインターフェイスの IP アドレスはセットアップウィザードで設定します。「3-2 セットアップウィザード」を参照してください。

セットアップウィザードへアクセスするには、セカンダリインターフェイス (eth1) にクライアントの Web プ

ブラウザからアクセスできることが条件となります。上図のように Turbolinux Appliance Server のセカンダリインターフェイス (eth1) とクライアントをクロスケーブルで接続するか、ハブを用意して新たに独立した LAN を構築してください。また、クライアントには、同じサブネットの IP アドレス (例えば、192.168.0.2/24) を設定しておく必要があります。

### ○ ネットワークカードが 1 枚の場合



プライマリインターフェイスのみ存在するサーバーに Turbolinux Appliance Server をキックスタートインストールした場合は、プライマリインターフェイス (eth0) には以下の IP アドレスとサブネットマスクが割り当てられます。

プライマリインターフェイスの IP アドレス	192.168.0.1
サブネットマスク	255.255.255.0

セットアップウィザードへアクセスするには、プライマリインターフェイス (eth0) にクライアントの Web ブラウザからアクセスできることが条件となります。上図のように Turbolinux Appliance Server のプライマリインターフェイス (eth0) とクライアントをクロスケーブルで接続するか、ハブを用意して新たに独立した LAN を構築してください。また、クライアントには、同じサブネットの IP アドレス (例えば、192.168.0.2/24) を設定しておく必要があります。



プライマリインターフェイス (eth0) に設定された IP アドレス 192.168.0.1/255.255.255.0 は、セットアップウィザードを完了したあとに変更します。「3-3 IP アドレスの変更」を参照してください。

### 3-2 セットアップウィザード

セットアップウィザードへアクセスするためのネットワーク環境を準備したら、以下の手順に従い Turbolinux Appliance Server の初期設定を行います。

1. Turbolinux Appliance Server をインストールしたサーバーを起動します。
2. Turbolinux Appliance Server の起動完了後、クライアントの Web ブラウザから以下の URL へアクセスします。

`http://192.168.0.1/`

3. クライアントの Web ブラウザに Turbolinux Appliance Server のセットアップウィザードが表示されます。



 **開始** ボタンをクリックします。



セットアップウィザードは、初回接続時のみ表示されます。設定完了後にアクセスすると、TLAS Server Desktop のログイン画面が表示されます。

4. 「バイナリコードライセンスについて」画面が表示されます。



スクロールして使用許諾契約の条件を確認します。使用許諾契約に同意をした上で画面の下にある

同意する

ボタンをクリックします。次のステップへ進みます。

## 第3章 Turbolinux Appliance Server の初期設定

5. 「システムの設定」画面が表示されます。

以下の設定項目を指定します。

### ホスト名とドメインネーム

Turbolinux Appliance Server に設定するホスト名とドメイン名を入力します。デフォルトでは、“ホスト名”に atom、“ドメインネーム”に mydomain が設定されています。

### DNS サーバー（省略可）

Turbolinux Appliance Server がホスト名（あるいはドメイン名）と IP アドレスの名前解決を行うために問い合わせる DNS サーバーの IP アドレスを指定します。このフィールドを省略すると、Turbolinux Appliance Server はホスト名を使用して他のコンピュータを特定することができなくなります。



DNS サーバーにローカルホストを意味する 127.0.0.1 の IP アドレスを指定した場合、自動的に Turbolinux Appliance Server の DNS サーバーが起動します。

### ゲートウェイ

Turbolinux Appliance Server のデフォルトゲートウェイとなるホストの IP アドレスを指定します。

### IP アドレス (プライマリインターフェイス)

Turbolinux Appliance Server のプライマリインターフェイス (eth0) に割り当てる IP アドレスを入力します。通常このインターフェイスにはグローバル IP アドレスを指定します。



ネットワークインターフェイスが1つだけしか存在しないサーバーに Turbolinux Appliance Server をキックスタートインストールした場合、ここでプライマリインターフェイスの IP アドレスを変更しないでください。IP アドレスを変更すると、セットアップウィザードを完了することができません。プライマリインターフェイスの IP アドレスは、セットアップウィザードを完了したあとに行ってください。「3-3 IP アドレスの変更」を参照してください。

### サブネットマスク (プライマリインターフェイス)

プライマリインターフェイス (eth0) のサブネットマスクを入力します。

### MAC アドレス (プライマリインターフェイス)

プライマリインターフェイス (eth0) で使用しているネットワークカードの MAC アドレスが表示されます。MAC アドレスは、ネットワークカードを識別するために設定される固有の識別子で、ハードウェアベンダの工場出荷時に設定されています。この値を変更することはできません。

### ユーザ名

Turbolinux Appliance Server のサーバー管理者である admin が表示されています。

### パスワード

admin ユーザーのパスワードを指定します。デフォルトのパスワードは admin となっていますので、必ずパスワードを変更してください。パスワードは半角英数 3 ~ 16 文字で指定します。パスワード中の小文字と大文字は区別されます。アクセントが置かれた文字を使用することはできませんが、#\*,,:;\_+!\$%&|?{[()]} は使用できません。



サーバー管理者 admin のパスワードを変更すると、root のパスワードも同じパスワードに変更されます。

### 日付と時刻

システム日付と時刻を設定します。”年”、”月”、”日”、”午前/午後”、”時”、”分”をプルダウンメニューから選択することができます。

### 時間帯

システムで使用する時間帯を設定します。”大陸/UTC” → ”国/地域” → ”時間帯”をプルダウンメニューから選択します。日本標準時を使用する場合は、上から”アジア” → ”日本”と選択をすると”日本標準時”が自動的に表示されます。



ボタンをクリックします。

### 第3章 Turbolinux Appliance Server の初期設定

6. Turbolinux Appliance Server のウェブ管理インターフェイス「TLAS Server Desktop」が表示されます。




これで、Turbolinux Appliance Server の初期設定は完了です。Turbolinux Appliance Server の運用管理については、「Turbolinux Appliance Server 2.0 操作ガイド」を参照してください。

### 3-3 IP アドレスの変更

プライマリインターフェイスやセカンダリインターフェイスにデフォルトで設定される IP アドレス 192.168.0.1/24 は、以下の手順で変更することができます。

TLAS Server Desktop のメニューから”システム設定” →”TCP/IP” を表示します。



”プライマリインターフェイス”あるいは”セカンダリインターフェイス”の IP アドレスとサブネットマスクを変更し、 ボタンをクリックします。

### 第3章 Turbolinux Appliance Server の初期設定

以下の画面が表示されます。



数秒後に新しい IP アドレスに接続を試みます。

自動的に接続できない場合は、手動で **新規アドレスへ接続** ボタンをクリックするか、Web ブラウザに直接 IP アドレスを指定し、アクセスしてください。



IP アドレスを変更すると、Turbolinux Appliance Server との通信は切れてしまいます。再び TLAS Server Desktop にログインするには、接続可能なクライアントの Web ブラウザから変更した IP アドレスにアクセスし直す必要があります。

## 第 4 章 TLAS Server Desktop

### 4-1 ログイン

TLAS Server Desktop のログイン画面にアクセスするには、クライアントの Web ブラウザから以下の URL にアクセスします。ホスト名を指定してアクセスするには、Turbolinux Appliance Server に設定したホスト名・ドメインネームが DNS サーバーによって名前解決可能な環境である必要があります。

`http://IP アドレスまたはホスト名/login/`

以下のログイン画面が表示されます。



”ユーザ名”に **admin**、”パスワード”にセットアップウィザードで設定したパスワードを入力し、

ボタンをクリックします。



TLAS Server Desktop は、SSL (Secure Sockets Layer) による暗号化通信をサポートしています。“セキュア接続”をチェックすると、Web ブラウザと Turbolinux Appliance Server 間の通信が暗号化されます。

---

## 第 4 章 TLAS Server Desktop

---

TLAS Server Desktop の管理サイトが表示されます。



以降の操作は、「Turbolinux Appliance Server 2.0 操作ガイド」を参照してください。

## 4-2 ライセンスの取得

Turbolinux Appliance Server では、Turboplus と呼ばれるパッケージ管理ツールが提供されていますが、Turboplus を使用するには、はじめにライセンスを取得する必要があります。

ライセンスの取得は、TLAS Server Desktop から行えます。”Turboplus” タブを選択し、”ライセンス”メニューを表示します。



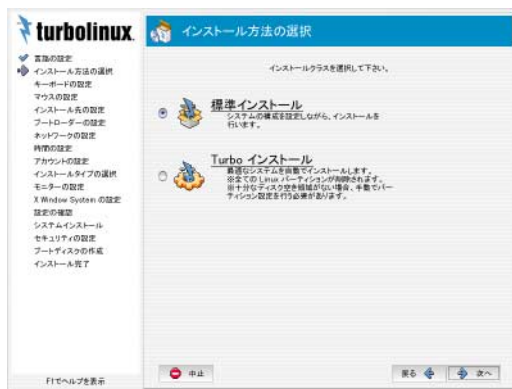
製品付属のシリアル番号と利用可能な電子メールアドレスを入力し、**ライセンスファイルの取得** ボタンをクリックします。ターボリナックスのライセンスサーバーから自動的にライセンスファイルを取得し、システムに登録されます。また、入力した電子メールアドレス宛にライセンスファイルが送信されます。Turboplus については「Turbolinux Appliance Server 2.0 操作ガイド」を参照してください。



ライセンスファイルはフロッピーディスク等へコピーし、大切に保管してください。Turbolinux Appliance Server を再インストールした際に、Turboplus の [アップロード] メニューから取得したライセンスファイルを手動で登録することができます。



5. 「インストール方法の選択」画面が表示されます。



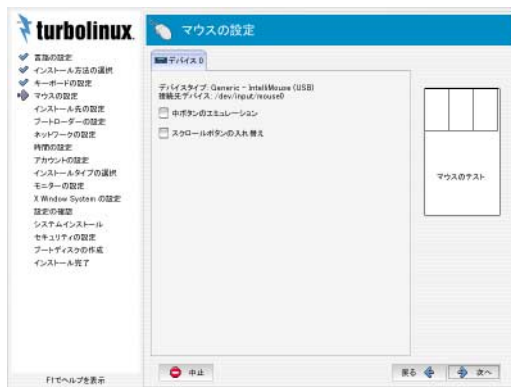
"標準インストール" が選択されたまま [次へ] ボタンをクリックします。

6. 「キーボードの設定」画面が表示されます。



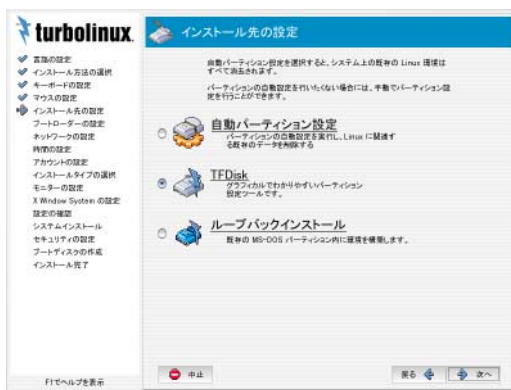
そのまま、[次へ] ボタンをクリックします。

7. 「マウスの設定」画面が表示されます。



そのまま、[次へ] ボタンをクリックします。

8. 「インストール先の設定」画面が表示されます。



"TFDisk" が選択されたまま [次へ] ボタンをクリックします。

9. TFDisk 画面が表示されます。



この画面のタブで認識されているハードディスクのデバイス名を確認することができます。この例では、2台のハードディスクが /dev/sda、/dev/sdb と認識されていることが分かります。確認後、[中止] ボタンをクリックしてインストールを中断します。

再起動後は、環境にあったキックスタートファイルを選択してインストールを開始してください。

## 謝辞

Linus Torvalds 氏をはじめとする Linux に関わるすべての皆様に心より感謝いたします。

Cobalt の優れたユーザインターフェイスの公開に尽力いただきましたサン・マイクロシステムズ社および Cobalt Users Group の皆様に心より感謝いたします。

Turbolinux Appliance Server 2.0 インストールガイド

2006 年 3 月 24 日 初版第一刷発行

発行 ターボリナックス株式会社

© 2006 Turbolinux, Inc.

落丁、乱丁はお取替えいたします。